

### 平成14年度末の完成に向け



下水道マスコットキャラクター  
ヒマワリン

雨に負けない  
まちづくり

### 発進立坑が完成

## 着々と進む 石田川雨水トンネル 1号幹線



土を削り取る鋼鉄製の刃がついたシールドマシンの前面

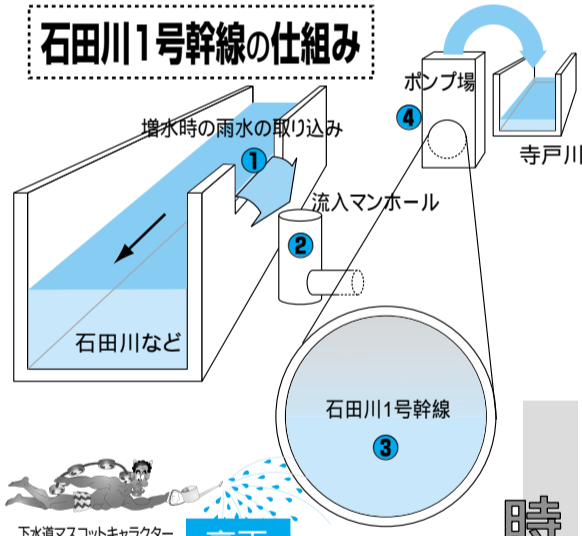


▲トンネルを掘り進んでいくシールドマシン(側面)



▶市役所西側の競輪場駐車場内に完成したシールドマシンを設置する発進立坑

### 石田川1号幹線の仕組み



① 石田川増水時の雨水の取り込み  
石田川などの水位が一定以上に上昇したとき、雨水を取り込みます。

② 流入マンホール  
石田川、梅ノ木川、殿長川の3箇所からトンネルに雨水を流し込みます。

③ 石田川1号幹線  
内径3.25m、延長1,417mのトンネルで、11,700トンの雨水を溜めることができます。

④ 深田川橋公園ポンプ場  
寺戸川の水位低下後に、トンネルに溜めた雨水を排水します。

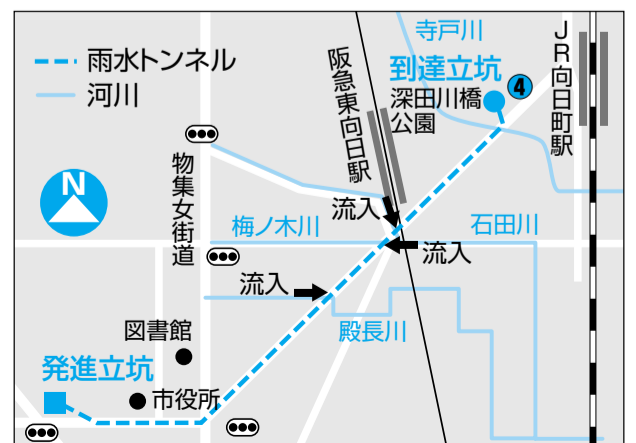
時間雨量六十ミリ以上の豪雨に対応

阪急東向日駅周辺など市中心部の浸水対策として、平成13年2月から市役所西側競輪場駐車場建設を進めていた「石田川1号幹線」の発進立坑がこのほど完成しました。

発進立坑は、地下26.2mまで掘り下げられ、来年1月初旬には、シールドマシン(掘削機械)による雨水トンネルの掘削が始まります。一日約10mのスピードで、立坑から府道向日町停車場線を通り、JR向日町駅西側の深田川橋公園まで掘り進み、平成15年3月の完成時には、約1.4kmの地下トンネルが築造されます。トンネルは直径3.25m、最大貯留量11,700トンの雨水貯留管として、浸水被害の解消に大きな役割を果たします。

トンネルには、石田川、梅ノ木川、殿長川の3箇所に集中豪雨などであふれた雨水を取り込む流入マンホールが設けられます。流入した雨水は、一時的にトンネル内に溜め込まれ、寺戸川の水位が低下した後、深田川橋公園に設ける排水ポンプ場から放流される仕組みになっています。

この石田川1号幹線は、1時間当たり約60ミリという豪雨でも浸水被害を防げる計画になっています。



### 募集中

## あなたの工夫を教えてください

「その他プラスチック」の保管の工夫、アイデアを募集しています。

**アイデアNo.1**  
長い筒型のゴミ箱に一杯になったら、レジ袋に入れて、100リットルぐらいの漬け物桶の容器に、文字通りお漬け物を漬ける要領(中ぶたを重しで押さえる。)で2週間保管しています。(上植野町 Uさん)

**アイデアNo.2**  
トレイ類は、同じような形のものを重ねて保管しています。また、大きいトレイや長いトレイは二つぐらいに切って保管しています。(向日市消費者の会)

**アイデアNo.3**  
お菓子の袋などは、きれいに延ばしてできるだけ重ねて保管しています。(鶏冠井町 Nさん)

市では、ごみの減量化・資源化をより一層推進するため、今年の4月からビニール・プラスチック製の容器や包装材の分別収集を始めました。これにより、また一つ新たな循環資源のリサイクルシステムができました。

一方、「その他プラスチック類」は廃棄物の60パーセント以上の体積を占め、かさばることから、ご家庭での保管の苦勞も多く、現在の月2回の収集回数をもっと増やすべきだとの意見も寄せられています。

しかしながら、収集回数を増やすことは、狭い市街地での分別収集ステーションの立地条件などから、極めて困難なところです。

そこで、収集日から次の収集日までの「その他プラスチック類」のご家庭での保管の工夫について、市民のみなさんのアイデアを募って、広報「むこう」の紙面で紹介していくことにしました。

### 応募方法

- ① テーマ  
その他プラスチック類の保管の工夫
- ② 送付先  
〒617-8665 向日市役所環境政策課
- ③ 応募用紙 特に関いません。
- ④ 募集期限 平成14年3月31日

### お問い合わせ

環境政策課環境対策係(内線226)